



その日々は、
都市になる。
歴史になる。
未来になる。

osaki corporation
company profile

その日々は、都市になる。 歴史になる。未来になる。

大崎建設は、いつも現場の最前線にいます。
超高層ビル、文化施設、寺社、学校、
高速道路、鉄道、河川、空港……。
工種や工法を問わず、あらゆる現場を手がける中で
建築・土木の両分野における
高度な技術を積み上げてきました。

私たちが生み出す、時代を象徴する建築物や、
数千万人の毎日につながる社会インフラ。
それらは、都市の新たな風景をつくります。
時代を超えて残りつづけ、
この国の歴史の一部になります。
人々の暮らしや産業を支える、
未来の基盤になります。

創業から百二十年以上。
この壮大なモノづくりに挑みつづけてきた誇りを胸に。
大崎建設は、今日も現場に立ち、
都市を、歴史を、未来を、つくりあげていきます。



—— 代表挨拶

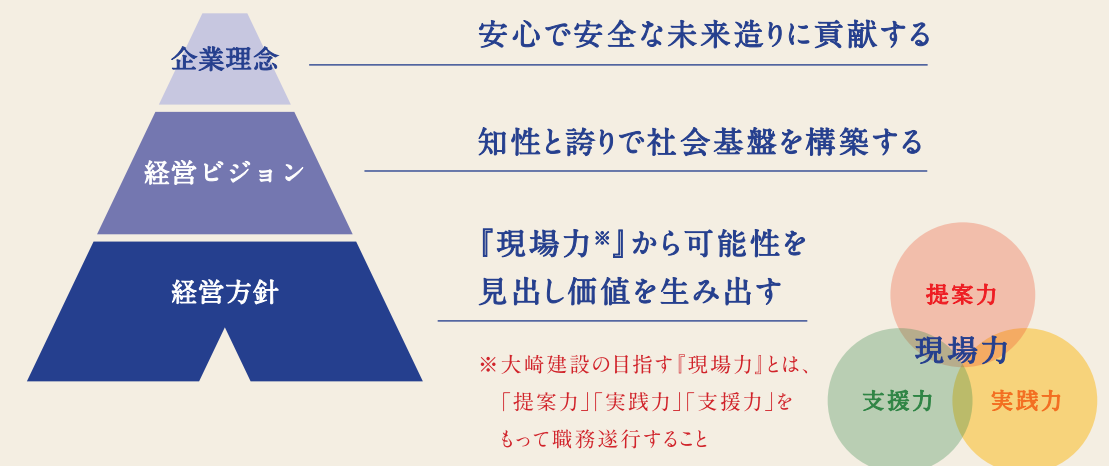


安心・安全な未来づくりを、いつまでも。

代表取締役社長 帆足 徹

明治35年の創業以来、当社は120年以上の長きにわたり、さまざまな
工事現場をリードしてきました。建築・土木の両分野を手がける貴重な
専門工事業者として大手ゼネコンから厚い信頼をいただいております。
近年、時代の変化とともに、建設業のあり方も大きな変革の時期を迎え
ました。新たな技術が台頭し、現場におけるDX推進やAI/IoT導入も
今や広く浸透しています。しかし、どれだけ時代が変わり、テクノロジー
が進歩しても、当社の本質的な価値は「人」にあると私は考えます。現
場の最前線に立ち続けてきた者ならではの五感を研ぎ澄まし、あらゆ
る難条件や課題を乗り越え、工事をその手で完成に導いていく。一つ
として同じモノづくりのない中で、個々の状況におけるベストな選択を
行う判断力や、その選択をチームで実現するためのコミュニケーション
能力。そうした目に見えないノウハウの集積が、そして、そのスキルを備
えた社員一人ひとりの存在が、私たちの「現場力」に他ならないのです。
建設業は、社会の安心・安全を守り、新たな未来を築く仕事です。大き
な使命と責任を果たすために、私たちはこれからも現場力を磨き、世の
中にとって欠かせない存在であり続けたいと思います。

—— 大崎建設の経営理念



Our Business 01 | Building Construction

建築工事

(土工事・コンクリート工事)

当社が手がける建築工事について、強みや施工実績の一部をご紹介します。



麻布台ヒルズ(左:森JPタワー／右:レジデンスA) 東京都

日本を代表する有名建築物を数多く施工。

高層ビルをはじめとしたさまざまな建築物の施工を行っています。全ての現場で土工事・コンクリート工事を請け負っており、建造物の主要構造部の施工を手がけています。当社の建築工事における大きな特徴のひとつが、時代を象徴するランドマーク的な建築物の豊富な施工実績。代表例は、日本一の高さ(※)を誇る『麻布台ヒルズ 森JPタワー』で、その他にも複数の高層ビルの建築工事に携わっています。また、高層ビルの他にも、学校や寺社仏閣、病院、エネルギー施設など多くの施工経験を持っています。それぞれの分野において特有の条件や技術にもきめ細かに対応し、高品質の施工を実現。年間数十以上の現場を動かす中で培ってきた知見を活かし、あらゆる建築物を形にしていきます。今日の現場が、その先何十年と残る都市の景色になっていく。そんなかけがえのないやりがいを感じながら、お客様の期待を超えるモノづくりに挑んでいます。

※2023年6月竣工時点

当社の建築工事の強み

01. 多彩な領域の施工経験・実績

著名建築物をはじめとしたあらゆる分野での施工経験・実績を持っており、基本的にはどのような建築工事にも対応可能です。現場の特性に応じ、柔軟な施工計画・施工方法で工事を行います。

02. 若手世代の活躍

高齢化・人手不足が業界全体の課題となっていますが、当社では高い若手社員比率を維持しています。ベテラン社員のサポートのもとで早い段階から大規模・高難度の工事を経験するため、高度な技術を持った人材が育っています。

03. 建築・土木一体の施工技術

建築・土木の両分野にまたがる技術を有しています。土工事から躯体工事までを請け負い、建設プロジェクトの広い範囲を手がけることができます。

Building Construction Works

建築施工実績(一部)



中央工学校 2号館、3号館 東京都 2019年竣工



東映アニメーション新大泉スタジオ 東京都 2017年竣工



牧野リハビリテーション病院 神奈川県 2018年竣工



プロロジスパーク草加 埼玉県 2022年竣工



群馬コンベンションセンター(Gメッセ群馬) 群馬県 2020年竣工



ADASTRIA MITO ARENA(アダストリアみとアリーナ) 茨城県 2018年竣工



東急歌舞伎町タワー 東京都 2023年竣工



清水建設本社 東京都 2012年竣工



流通経済大学付属柏中学校 中学校1号館、図書・メディア棟 千葉県 2022年竣工

Our Business 02 | Civil Engineering

土木工事

(土工事・躯体構築工事一式)

当社が手がける土木工事について、特徴や施工実績の一部をご紹介します。



東京外環自動車道 大和田工事 千葉県

社会インフラを守り、未来への基盤をつくる。

道路、鉄道、河川、宅地造成、エネルギー、上下水道といったライフラインに関する幅広い工事を手がけ、社会インフラ整備に貢献。公共工事を中心に、躯体一式の施工を当社が担っています。領域を問わないあらゆる土木工事に対応していますが、特に都市土木に関する経験・実績が豊富です。都市部の土木工事においては、図面に記されていない地下埋設物への対応、近隣への騒音・振動等の防止、狭いエリア内での繊細な作業、そして高度な技術を必要とする特有の難しさがありますが、そうした問題にも適切に対処するノウハウを蓄積し、若い世代へと継承しています。また、当社は災害復興対応においても力を発揮しており、東日本大震災や能登半島沖地震が発生した際には元請からの要請を受け即座に派遣チームを編成。協力会社と連携し、土砂や瓦礫の撤去をはじめとした復旧・復興作業にスピーディに対応しました。社会インフラを支えるという大きな責任と使命を果たすべく、さらなる技術の向上に努めていきます。

当社の土木工事の強み

01. 主要工種を一貫担当

土工事、型枠、鉄筋、鉄骨、コンクリート打設など、土木工事に必要なさまざまな専門工事一式を行い、施工全体に責任を持って竣工まで導きます。

02. 臨機応変な現場対応力

100社以上の協力会社とのつながりを持っており、現場ごとに最適な施工体制を構築できます。災害対応など非常時における迅速な対応能力にもつながっています。

03. 建築・土木一体の施工技術

建築・土木の両分野にまたがる技術を有しています。土工事から躯体工事までを請け負い、建設プロジェクトの広い範囲を手がけることができます。

Civil Engineering Works

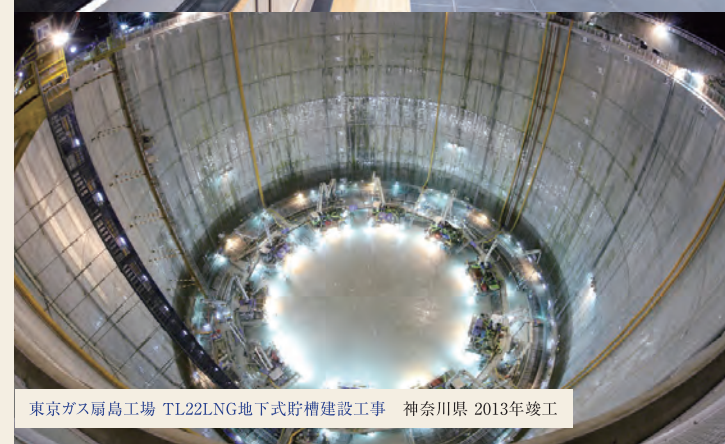
土木施工実績(一部)



相鉄・東急新横浜線、新横浜駅他 神奈川県 2024年竣工



環状第5の1号線地下道路荒川線併行部(南池袋工区)建設工事 東京都 2022年竣工



東京ガス扇島工場 TL22LNG地下式貯槽建設工事 神奈川県 2013年竣工



東京外環自動車道 大和田工事 千葉県 2019年竣工



箱根登山鉄道 台風19号災害復旧 神奈川県 2021年竣工



千五沢ダム改築 福島県 2024年竣工



ユーラス六ヶ所ソーラーパーク 青森県 2015年竣工



特越自動車道 観音寺川橋床版取替工事 福島県 2024年上り線取替工事完了

Systems that Support Our Business

事業を支える独自の仕組み

職人技術を持つ労務部（技能職社員・職長）、万全の安全対策、独自の技術開発。
大崎建設のモノづくりを支える3つの仕組みについてご紹介します。

Skilled Labor Department



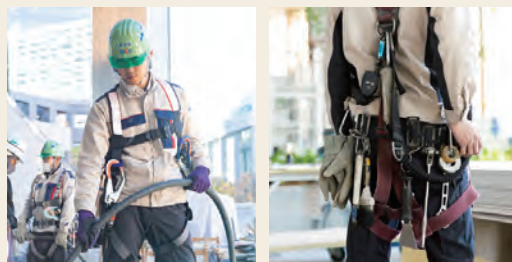
労務部 （技能職社員・職長）

当社はゼネコンの一次請として各専門工事を管理するほか、現場における実作業を率先垂範します。職人として、また職長としての職務を行うのが「労務部」の技能職社員です。



現場の作業を直接指揮する『職長』

大崎建設には、各専門工事を管理する技術職社員に加え、職人の立場で作業を担当する技能職社員が在籍しています。技能職社員のうち、一定の経験・スキルに達した者が「職長」として現場の技能者を直接的に指揮します。技術職社員が工事全体の「QCDSE（品質・原価・工期・安全・環境）」の管理、職長が現場作業レベルでの管理を担当。工事全体を見渡す広い視点と、職人的な技術力の両方を社内ですべて持っていることが、当社の大きな強みとなっています。



広い視点・技術を備えた プロフェッショナルを育成

新卒社員は入社後3年間で建築・土木の両分野を経験したのち、自らの希望・適正に応じてどちらの道に進むかを選択します。また、入社直後から各種資格の取得にも力を入れて取り組みます。こうした育成プログラムにより幅広い知識と技術を備えた現場のプロフェッショナルを養成し、プロジェクトの中核を担う人材を確保しています。

Safety Initiatives

安全への取り組み

すべての現場の基本は安全第一。事故・災害を防ぐために、年間を通じてさまざまな取り組みを行っています。



幹部合同パトロール



安全衛生大会



安全衛生委員会

安全衛生大会

大崎建設(株)・大崎建設災害防止協議会が主催し毎年開催。安全施工への意識向上や、安全への取り組みが優秀と認められた企業・職長の表彰を行います。

安全衛生委員会

毎月1度、大崎建設の各部署から安全衛生委員に任命された社員により、安全活動の報告、情報共有、意見交換などを実施しています。

安全連絡会議・災害防止協議会

毎月1度、大崎建設(株)・災害防止協議会会員で、安全に関する情報共有・意見交換会を行っています。

幹部合同パトロール

現場の担当社員や安全部による現場パトロールに加え、社長をはじめ経営幹部も現場に足を運び、安全に目を光らせています。

職長・安全衛生責任者教育

作業現場で労働者を直接指導・監督する職長及び元請・他業社・取引業者との連絡・調整を担う安全衛生責任者に対し教育（能力向上教育を含む）を実施しています。

安全周知勉強会

協力業者と合同で集合教育を実施しています。新年度の初めは安全管理方針の周知、年末年始には安全意識の向上を図っています。

Technology Research Institute

技術研究所

化学の力で工事現場を支える技術研究所。当社独自の研究開発を通じ、これまでに複数の特許を取得しています。開発商品の一部をご紹介します。

コーンα

環境に優しい、 無公害の地盤改良剤

食品添加物・有機酸からつくられた今までにない地盤改良材です。コーンαを添加することで、粘着力を増加、転圧による圧密を加速的に上げ、その後微生物によりこれらを安定させます。無公害での各種改良や土舗装を可能にします。



<用途>

- 軟弱土・発生土のコーン指数向上の土質改良
- 盛り土等地盤改良工事
- 道路工事での路床改良
- 歩道・遊歩道・公園広場工事での土改良舗装
- 飛散防止工事での散布改良
- 除染バチルスコート改良

<特長>

- ① 人畜無害の改良材
- ② 捨て土は一般残土として処理可能
- ③ 従来固化材と異なる改良法
- ④ 残土量軽減
- ⑤ 地山と変わらぬ透水性を確保
- ⑥ 植生に影響なし
- ⑦ 除染後の線量上昇防止

臭バスター

置くだけで手軽に消臭を実現

建設現場等において発生する悪臭の原因物を分解・消臭します。長期間の使用が可能で、使用後は肥料となり土に還る、環境に配慮した消臭剤です。



<用途>

- 畜産農業施設における環境臭気の除去
- 各種工場・処理場における環境臭気の除去
- 一般下水道、特殊下水道における環境臭気の除去
- 下水道敷設替え、改修工事における環境臭気の除去
- 家庭や飲食店の生ごみから発生する環境臭気の除去

<特長>

- ① あらゆる臭気に対応
- ② 活性炭等に比べ長期間の消臭効果
- ③ 人畜無害
- ④ 消臭分解後は肥料として有効利用可
- ⑤ 蚊やボウフラの発生も防止
- ⑥ 乾燥湿潤状態いずれの条件下でも使用可

History of Osaki Corporation

大崎建設の歩み

明治35年に初代・大崎喜三次が北九州小倉で土木請負業を旗揚げして以来、先人の技術と技能を継承し、お客様からの信頼を積み重ねてきました。120年以上に及ぶ当社の歩みの一部をご紹介します。



1935年：初代大崎喜三次(中央)を囲んで



1948年：日本橋浜町本社右側4階建て



2008年：基幹技能職社員制度発足



2016年：社員寮「切憊寮」完成



2022年：創業120周年

1902年	初代大崎喜三次が個人経営として北九州小倉に大崎組を創業
1917年	合資会社大崎組を東京都中野区に設立
1948年	合資会社大崎組を改組し、大崎建設株式会社を設立 本社を日本橋浜町に移転 小松製D80及び神戸製15K・22Kの国産ブルドーザー、掘削機械導入
1960年	国内初コンクリートポンプ車USホワイトS／Dを都文化会館で導入
1966年	新社屋を東京都渋谷区代々木に新築し、移転
1980年	定置式コンクリートポンプを三菱重工(株)と共同開発し、東電柏崎原発で採用
1992年	油圧式開閉式バケットを開発し、東電豊洲変電所で採用
1995年	コンクリート圧入工法機械開発(特許取得)
1999年	(平成17年特許取得) 無公害地盤圧密加速材(コーンα)開発 各種臭気分解消臭処理剤(臭バスター)開発
2002年	旧大崎建設株式会社(代々木建設(株)へ社名変更)から分割し、大崎建設株式会社(新設会社)を設立 専門工事部門を継承し、本社を東京都港区芝浦に置く
2008年	基幹技能職社員制度発足
2009年	本社を東京都文京区後楽に移転
2010年	技術研究所開発の「コーンα」が国土交通省の『NETIS(新技術情報提供システム)』へ登録完了
2016年	社員寮「切憊寮」完成
2019年	労働者派遣事業許可取得
2022年	創業120周年



企業概要

会社名	大崎建設株式会社	労働者派遣事業	派13-312554
本社所在地	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目7番12号 林友ビル2F	従業員	社員150名(2025年4月現在)
TEL	03-5805-5011	事業内容	・土木、建築、内装工事の請負、設計、施工、監理 ・建物及び附属施設の保守管理清掃及び補修 ・土木建築資材の加工ならびに販売 ・労働者派遣事業 ・産業廃棄物の収集運搬業務 ・前各号に付帯する一切の業務
FAX	03-5805-5015		
創業	1902年1月(明治35年1月)		
資本金	1,000万円		
代表者	代表取締役社長 帆足 徹		
許可番号	東京都知事許可(般-29)第117343号 土木事業、建築事業、 とび・土工事業、大工事業、 鉄筋工事、舗装工事、 水道施設工事、左官工事、 解体工事	主要取引先	清水建設株式会社
		取引銀行	三菱UFJ銀行 田町支店

事業所案内

【本社】 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目7番12号 林友ビル2F TEL:03-5805-5011 FAX:03-5805-5015	【氷川台事務所/氷川台寮】 〒179-0084 東京都練馬区氷川台2丁目6番5号
【東北営業所】 〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字石止1番1号 プリマペーラ市名坂101号 TEL:022-375-4381 FAX:022-375-4806	【大戸事務所】 〒194-0211 東京都町田市相原町4614
【高松事務所/切憊寮】 〒179-0075 東京都練馬区高松5-16-14(大崎建設切憊寮101) TEL:03-5923-9471 FAX:03-5923-9472	【技術研究所試験室】 〒194-0211 東京都町田市相原町4616 TEL:03-5805-5011 FAX:03-5805-5015

WEB サイトのご案内

当社についてより詳しい情報をWEBサイトに掲載しています。採用情報では実際に活躍する社員の姿を紹介していますので、入社希望の方もぜひご覧ください。

大崎建設ホームページ



osaki-c.co.jp

採用情報



osaki-c.co.jp/recruit



大崎建設株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目7番12号 林友ビル2F

<https://www.osaki-c.co.jp>